

短縮ダイヤルでかけるには 〈短縮ダイヤル〉

こんなときに便利

- よく使う番号を登録しておき、短縮した番号で電話をかけるとき。短縮ダイヤルには、個別短縮ダイヤルと共通短縮ダイヤルの2種類があります。

はじめに

該当の交換機

交換機シリーズ名	型名	備考
IP Pathfinder Sシリーズ	IP Pathfinder S	
RM10Sシリーズ	RM10S-GSM、RM10S-GSML、RM10S-GSML2	
ES200シリーズ	ES230、ES250、ES270	
CS100シリーズ	CS100	
E-200シリーズ	E-230、E-250、E-270	

- 個別短縮ダイヤル(可変短縮ダイヤル)は、電話機個別またはグループで使用する短縮ダイヤルです。ご利用いただくには、事前に交換機設置業者による交換機側の設定が必要です。「個別短縮ダイヤルの最大登録宛先数」「個別短縮ダイヤルのグループ割り付け」は、交換機側の設定であり電話機からの登録変更はできません。
- 共通短縮ダイヤル(固定短縮ダイヤル)は、システム全体で使用する短縮ダイヤルです。「共通短縮ダイヤルの最大登録宛先数」は、交換機側の設定であり電話機からの登録変更はできません。
- 本、短縮ダイヤルの操作手順に記載された「特番」は、交換機導入時の標準的な初期値です。本手順の「特番」でご利用になれない場合、お客様の社内通信機器管理部門にお聞きになるか、お買い上げいただいた販売店へご相談ください。
- 新たに短縮ダイヤルサービスをご利用になりたい場合や登録宛先数を変更したい場合は、お買い上げいただいた販売店へご相談ください。
- DG-station100シリーズ・D-station10/30/50シリーズ・Digital Phone40/70シリーズは、専用電話機です。

個別短縮ダイヤル

登録

各グループ毎あるいは、電話機毎に短縮番号を登録します。

専用電話機

操作前の表示		2000 10:20 AM 3月1日[木]
1	🔊 ボタンを押します。	
「ツーツー」という内線発信音が聞こえます。		■内線ランプが緑の点灯 ■スピーカランプが赤の点灯
2	「1」「7」（特番）を押します。	17
3	短縮番号を押します。 (例：3番のとき)	3
4	局線発信特番 (たとえば「0」)を押します。	30
5	登録する相手番号を押します。 (例：03-3216-3211を登録するとき)	300332163211
6	短縮ボタンを押します。 (または、タイムアウトになるのを待ちます。) 「ブブブ」 という確認音が聞こえます。	0332163211 完了
7	🔊 ボタンを押します。	2000 10:21 AM 3月1日[木] ■内線ランプが消灯 ■スピーカランプが消灯

一般電話機

1	受話器を上げます。	
「ツーツー」という内線発信音が聞こえます。		
2	「1」「7」（特番）を押します。	
3	短縮番号を押します。 (例：3番をダイヤルします)	
4	局線発信特番 (たとえば「0」)を押します。	
5	登録する相手番号を押します。 (例：03-3216-3211をダイヤルします)	
6	タイムアウトになるのを待ちます。 「ブブブ」 という確認音が聞こえます。	
7	受話器を戻します。	

- 繰り返し登録するには、6の操作の次に3の操作にもどります。
- 専用線番号を登録するには、4の操作で専用線発信特番（たとえば「71」）を押します。
- 個別短縮ダイヤルでは、相手番号の先頭部分を登録し、後半を発信の都度ダイヤルすることができます。
例) 03-3216-3211

短縮ダイヤルで登録 ダイヤルします。

- 登録できる番号は最大20桁まで、0～9、*、#、ポーズが登録可能です。(ポーズは~~転送~~ボタンで行います。一般電話機ではポーズの登録はできません。…通常はシステムが自動的にポーズをとります。ポーズが必要となるのは、一部の国際電話などです。)
- 同じ短縮番号へ登録することにより、以前に登録した相手番号は、新しい番号に置き換わります。
- 個別短縮ダイヤルの宛先数及びグループ数は次の中からシステムで1つ指定できます。

宛先数	グループ数	短縮番号
10	100	0～9 (1桁)
20	50	00～19 (2桁)
40	25	00～39 (2桁)
50	20	00～49 (2桁)
100	10	00～99 (2桁)
1000	1	000～999 (3桁)

グループ：たとえば電話機が20台あった場合に、グループ数を20とすると個々の電話機で、50個の短縮ダイヤル番号を使うことができます。

宛先数などの変更につきましては、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。

個別短縮ダイヤル **発信**

専用電話機

操作前の表示		2000 10:20 AM 3月1日[木]
1	短縮ボタンを押します。	 ■内線ランプが緑の点灯 ■スピーカランプが赤の点灯
2	「5」（特番）を押します。	5
3	短縮番号を押します。 (例：3番とするとき) 「タタタ タタタ」という短縮ダイヤル発信中音が聞こえます。 続いて「トゥルルル」という呼出音が聞こえます。	53 ■局線ランプが緑の点灯 ■内線ランプが消灯
4	受話器を上げます。	53 ■スピーカランプが消灯
5	相手が出たら話します。	0332163211 10円 00:05

一般電話機

1	受話器を上げます。	「ツーツー」という内線発信音が聞こえます。
2	「5」（特番）を押します。	
3	短縮番号を押します。 (例：3番をダイヤルします) 「タタタ タタタ」という短縮ダイヤル発信中音が聞こえます。 続いて「トゥルルル」という呼出音が聞こえます。	
4	相手が出たら話します。	

- 転送するときも「個別短縮ダイヤル」を使えます。
- 内線クラスにより短縮ダイヤルが利用できない電話機もあります。
- 特定の局線を使用して発信することもできます。「局線」または「発信」ボタンを押すか、局線指定発信で使用したい局線を選んでから短縮ボタンを押し、続けて特番と短縮番号をダイヤルします。

共通短縮ダイヤル

登録

だれでも使用でき、システムで共通の短縮番号を登録します。システム管理者の方以外は、変更しないでください。

専用電話機

操作前の表示		2000 10:20 AM 3月1日[木]
1	🔊 ボタンを押します。	
「ツーツー」という内線発信音が聞こえます。		■内線ランプが緑の点灯 ■スピーカランプが赤の点灯
2	「1」「6」「6」(特番) を押します。	166
3	共通短縮ダイヤル登録種別番号を押します。	1
4	短縮番号を押します。 (例: 23番のとき)	123
5	局線発信特番(たとえば「0」)を押します。	1230
6	登録する相手番号を押します。 (例: 03-3216-3211を登録するとき)	12300332163211
7	短縮ボタンを押します。 (または、タイムアウトになるのを待ちます。) 「ブブブ」 という確認音が聞こえます。	0332163211 完了
8	🔊 ボタンを押します。	2000 10:21 AM 3月1日[木] ■内線ランプが消灯 ■スピーカランプが消灯

一般電話機

1	受話器を上げます。	
「ツーツー」という内線発信音が聞こえます。		
2	「1」「6」「6」(特番) を押します。	
3	共通短縮ダイヤル登録種別番号を押します。 (例: 1番をダイヤルします)	
4	短縮番号を押します。 (例: 23番をダイヤルします)	
5	局線発信特番(たとえば「0」)を押します。	
6	登録する相手番号を押します。 (例: 03-3216-3211をダイヤルします)	
7	タイムアウトになるのを待ちます。 「ブブブ」 という確認音が聞こえます。	
8	受話器を戻します。	

- 繰り返し登録するには、7の操作の次に3の操作に戻ります。
- 専用線番号を登録する場合は、4の操作で専用線発信特番(たとえば「71」)を押します。
- 共通短縮ダイヤルでは、相手番号の先頭部分を登録し、後半を発信の都度ダイヤルすることができます。
例) 03-3216-3211

短縮ダイヤルで登録 ダイヤルします。

- 登録できる番号は最大20桁までで、0~9、*、#、ポーズが入力可能です。(ポーズは[転送]ボタンで行います。一般電話機ではポーズの登録はできません。…通常はシステムが自動的にポーズをとります。ポーズが必要になるのは、一部の国際電話などです。)
- 同じ短縮番号へ登録することにより、以前に登録した相手番号は、新しい番号に置き換わります。
- 共通短縮ダイヤルはシステムで最大300の宛先まで登録できます。初期の状態では、最大100宛先まで登録できます。登録数を増やしたい場合は、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。
- 共通短縮ダイヤルの登録数101宛先以上に増やした場合は、3の操作で共通短縮ダイヤル登録種別番号を「2」及び「3」で登録します。詳しくはお買い上げいただいた販売店にご相談ください。

共通短縮ダイヤル

発信

専用電話機

操作前の表示		2000 10:20 AM 3月1日[木]
1	短縮ボタンを押します。	■内線ランプが緑の点灯 ■スピーカランプが赤の点灯
2	「6」（特番）を押します。	6
3	短縮番号を押します。 (例：23番のとき) 「タタタ タタタ」という短縮ダイヤル発信中音が聞こえます。 続いて「トゥルルル」という呼出音が聞こえます。	623 ■局線ランプが緑の点灯 ■内線ランプが消灯
4	受話器を上げます。	623 ■スピーカランプが消灯
5	相手が出たら話します。	0332163211 10円 00:05

一般電話機

1	受話器を上げます。 「ツーツー」という内線発信音が聞こえます。
2	「6」（特番）を押します。
3	短縮番号を押します。 (例：23番をダイヤルします) 「タタタ タタタ」という短縮ダイヤル発信中音が聞こえます。 続いて「トゥルルル」という呼出音が聞こえます。
4	相手が出たら話します。

- 転送するときも「共通短縮ダイヤル」を使えます。
- 内線クラスにより短縮ダイヤルが利用できない電話機もあります。
- 特定の局線を使用して発信することもできます。短縮ボタンのある電話機で利用できます。「局線」または「発信」ボタンを押すか、局線指定発信で使用したい局線を選んでから短縮ボタンを押し、続けて特番と短縮番号をダイヤルします。
- 2の操作では、共通短縮ダイヤル登録種別番号によって特番が異なります。詳しくはお買い上げいただいた販売店にご相談ください。